

関本町小中一貫教育校の開校に向けて

設置協議会報告書
(校舎建設及び施設整備)

平成 25 年 10 月 18 日

関本町小中一貫教育校設置協議会

はじめに

北茨城市教育委員会では、関本町における児童・生徒数の減少を踏まえ、小・中学校の再編について検討を重ねてきましたが、教育環境の充実をはかるには単なる統合ではなく、関本第一小学校と富士ヶ丘小学校、そして関本中学校の3校が連携した施設一体型小中一貫教育校の設置が望ましいとの判断に至り、保護者や地域との合意形成に努め、平成24年12月には、基本的な方向性を示した「関本町小中一貫教育校設置基本方針」を策定しました。

この基本方針に基づき、学校・家庭・地域が連携し、関本町小中一貫教育校の開校を円滑に進めるため、平成25年7月に3校の教職員や保護者、そして地域関係者等で構成する「関本町小中一貫教育校設置協議会」を設置し、平成28年4月の開校に向け、様々な事項について協議を進めているところです。

この度、協議課題の中でも新校舎等の建設、及び施設整備の分野について検討結果がまとまりましたので報告を致します。

(設置協議会の様子)



第2回設置協議会の様子



国田小中学校視察の様子

I 検討経過

－第1回協議会－ [平成25年7月3日 関本中学校 図書室]

概要

本協議会開催の趣旨説明、協議会委員への委嘱状交付と教育長による挨拶の後、会長の選出を行い、関本中学校の鷺校長が会長に決定しました。

また、事務局より関本町小中一貫教育校設置基本方針、開校までの小中一貫教育校設置協議会の運営方法やスケジュールについて説明があり、その後、質疑応答がなされました。

午後からは、小中一貫教育を実践している水戸市立国田小中学校を視察しました。

1 教育長挨拶

2 関本町小中一貫教育校設置協議会会長・副会長選任

委員の互選により、関本中学校の鷺校長が会長に、富士ヶ丘小学校の鈴木校長が副会長に選出されました。

3 関本町小中一貫教育校設置基本方針、小中一貫教育校設置協議会の運営方法及び開校までのスケジュールについて

小中一貫教育校の設置運営を円滑に進めるための基本的な方向が示された設置基本方針、本協議会の開催趣旨、設置協議会の運営方法及び今後の開校までのスケジュール等について、事務局から説明を行いました。

4 国田小中学校視察

各委員の小中一貫教育校校舎新築に向けた基本的な理解を深めるため、小中一貫教育を実践している施設一体型の水戸市立国田小中学校を視察しました。

－第2回協議会－ [平成25年8月1日 関本中学校 図書室]

概要

事務局より、関本町小中一貫教育校設置協議会の本年度検討スケジュール及び本年度関本町小中一貫教育校の実施設計を担当する柴建築設計事務所が紹介され、校舎建設及び施設整備（案）について説明があり、その後、質疑応答がなされました。

1 関本町小中一貫教育校校舎建設及び施設整備について

関本中学校区小・中施設一体型校舎等基本設計参考書類を基に、配置計画について比較検討するため、現在の校舎を使用しながら校舎を建設するA案

と仮設校舎を建設し現在の校舎を解体後に新校舎の建設を行うB案・C案の3案についての説明がなされ、いろいろと協議した結果、A案で進むことになりました。

校舎スタイルについては、回廊型やクラスター型の比較、計画平面に関しては多目的に利用できる中庭、ランチルームや多目的スペースなど、また、運動施設は一階を柔剣道場と駐車スペース、二階をアリーナとする案の説明がなされました。

これについて委員からは、解体されるプールやテニスコートの設置、校庭の砂ぼこりや校外からの水の流入対策、内装木材の利用や低学年の防犯対策など、いろいろな意見・要望が出されました。

また、中庭は使い勝手が悪く利用度がなく通気性も悪いので、風通しや日当たりのいいオーソドックスな型がいいのではという意見も出されました。

－第3回協議会－ [平成25年8月29日 関本中学校 図書室]

概要

事務局より、前回の意見・要望を反映した校舎建設及び施設整備（案）について説明があり、その後、質疑応答がなされました。

1 関本町小中一貫教育校校舎建設及び施設整備について

囲み型の校舎プランや中庭の利用、テニスコートの設置、中学部の三階部分への配置、理科室の小中学部の共有化、職員室の配置などについて説明がありました。

委員からは、B&G海洋センタープールの利用、テニスコートの敷地内2面以上の設置、西日対策、視聴覚室の設置と地域開放、防球ネットの設置、バスの待機スペースの設置、小中学校昇降口の統一などについての意見・要望が出されました。

－第4回協議会－ [平成25年9月24日 関本中学校 図書室]

概要

前回の意見・要望も含めた今までの校舎建設及び施設整備の意見・要望のまとめについて、各項目ごとの意見・要望及び対応・対策についての内容確認がなされました。

Ⅱ 校舎建設及び施設整備に関する検討結果まとめ

1 校舎建設及び施設整備の設計に向けた意見・要望

これまでの議論・検討を踏まえ、協議会の中で出された以下の意見・要望については、設計の中に可能な限り反映していただくよう望みます。

なお、冷房設備については、児童・生徒の健康に配慮し、全教室への設置を検討されるよう強く要望します。

	意見・要望・提案	検討結果
1	<p><u>・校舎プランについて</u> 回廊型（囲み型）について。</p>	<p>回廊型（囲み型）とする。</p>
	<p>1. 敷地形状において、既存校舎を残しながら新校舎建設を進める場合に小中一体型における共有空間を生かしたプランが必要で、敷地の有効利用が求められる。 2. 敷地が限られており、校舎を効率的に配置でき、全体としてコンパクトな形態とすることができる。 3. 動線の短縮も同時に可能とし、反対側の教室に行くにあたっては、いろんな動線が選択できる。 4. 日常生活において、学校を一つの生活空間という考え方をしており、学び舎として教室だけでなく、学校全体を一つの家として様々な生活空間、見え方が違うなど、回廊を通して日常の生活の中でいろいろ変化を付けることができる。</p>	
2	<p><u>・プールについて</u> 関本中学校のプールは先行して解体し使えなくなるが、できれば学校の敷地内につくってほしい。</p> <p>敷地が狭くプールが建設できないのであれば、年間の使用状況、維持管理を考えると、効率もよく負担も軽減されるので、B & G海洋センタープールを使用し、バスで送り迎えをする方向で考えて欲しい。</p>	<p>①敷地が狭くプールが建設できないので、B & G海洋センタープールを使用する。</p> <p>②プールへの往復は、送迎バスによる。</p>
3	<p><u>・テニスコートについて</u> 個人でも活動できる部活であり、安全面とか練習の効率の面から、目の届く学校の敷地内に2面以上を確保して欲しい。</p>	<p>テニスコート2面を設置する。</p>

	意見・要望・提案	検討結果
4	<p><u>・校内通路について</u></p> <p>現在は西門を利用して通り抜けできるので、車の出入りがスムーズにできるように、校内の通路について考慮して欲しい。</p>	<p>西門を利用し、安全面も考慮しながら、校内を円滑に通過できる道路を設ける。</p>
5	<p><u>・バス等の待機スペースについて</u></p> <p>遠足等のバスが待機できるような駐車スペースの確保をお願いしたい。</p>	<p>県道側に、バス等が2台待機できる停車スペースを設ける。</p>
6	<p><u>・遊具広場について</u></p> <p>遊具広場をなかよし広場に持って行った方が使い易いのではないか。</p>	<p>①遊具は、職員室から目の届く校庭南側に設置する。</p> <p>②野球練習と共存するための安全策を講じる。</p>
7	<p><u>・走り幅跳びの場所について</u></p> <p>走り幅跳びはどこで行うのか。</p>	<p>校庭に設置する砂場を利用する。</p>
8	<p><u>・手洗い場について</u></p> <p>外に手洗い場・水飲み場を設置して欲しい。</p>	<p>保健室前や昇降口付近等、必要な箇所に設置する。</p>
9	<p><u>・部室について</u></p> <p>現在は、主に用具置場となっていて、体育倉庫の充実を。</p>	<p>部室だけでなく、用具置場としても利用できるように設置する。</p>
10	<p><u>・フェンス・防球ネットについて</u></p> <p>安全面を考えたフェンス、ボールの飛び出しを防ぐ防球ネットの設置をお願いしたい。</p>	<p>ボールの飛ぶ高さに応じて防球ネット、あるいは風除けのネット等を設置する。</p>
11	<p><u>・校庭への水の流入について</u></p> <p>西側の道路より校庭が低くなるので、水が入りやすいので対策をして欲しい。</p>	<p>道路建設計画との調整を行ない対応する。</p>

	意見・要望・提案	検討結果
12	<p>・ <u>西風対策について</u></p> <p>高帽山方向から吹き下ろす西風で砂ぼこりがすごく、それに向かい合う形で東側に校舎が配置されているが、それに対する対策はどうか。</p>	<p>①校庭と校舎間に段差を設ける。</p> <p>②校庭と校舎の間には植栽や芝を張る等、砂ぼこりを防ぐ手立てを講じる。</p>
13	<p>・ <u>中庭の利用について</u></p> <p>1. 中庭は使い勝手が悪く利用度がなく通気性も悪いのでどうか。 {通風（風通し）、採光（光の当たり具合）}</p> <p>2. 中庭の利用はどの様にするのか。</p>	<p>①サッシ開口部を掃き出しタイプとし、なるべく大きくすることで段差をなくし、開放感のある明るく風通しの良い空間を確保する。</p> <p>②中庭は多目的広場と捉え、オープンスペースとして、ランチルームや廊下と一体で活用できる空間とする。</p> <p>③安心・安全な空間として、低学年児童を中心に、上履きのまま利用できる遊び場とする。</p>
14	<p>・ <u>木材の利用について</u></p> <p>内装に木をふんだんに使って欲しい。</p>	<p>校舎の内装については、できるだけ木材を使用する。</p>
15	<p>・ <u>ランチルーム及び視聴覚室について</u></p> <p>1. ランチルームはどのように利用するのか。</p> <p>2. 地域の学校でもあるので、地域との交流のできる地域の人も利用できる視聴覚室を一階に配置して欲しい。</p>	<p>①ランチルームで一緒に昼食を摂ることで、学年間の交流を促す。</p> <p>②中庭を利用した屋外での昼食など、一体的な活用をする。</p> <p>③ランチルームを多目的に活用するため、視聴覚室機能を付加する。また、可動間仕切等を設けて分割使用が可能なものとし、倉庫も附帯させる。</p> <p>④家庭科室とランチルームを含めた部分を地域開放ゾーンとし、出入口を設けて独立エリアとする。</p>

	意見・要望・提案	検討結果
16	<p>・<u>教室の向きについて</u> 教室は南向きとして欲しい。</p>	<p>①普通教室は南向きとする。</p> <p>②通風や採光を考慮し、一部三階建てとする。</p>
17	<p>・<u>昇降口について</u> 昇降口は小中一緒でもいいのではないか。一緒にすれば逆に保健室及び教務センターの部分のいろんな配置等、工夫がさらにできるような気がする。</p>	<p>①昇降口は、校舎西側の左右に小・中別個に検討をしたが、北側（左側）一箇所とし、小・中一緒に使用する。</p> <p>②教務センターは、小学部側に寄せる。</p>
18	<p>・<u>防犯について</u> 正門から近くに低学年の教室があるが、現在いろいろな犯罪があるので、低学年の安全対策、防犯対策は大丈夫か。</p>	<p>①職員室や保健室には常時職員が滞在し、正門付近に目を配れる環境にする。</p> <p>②防犯や避難対策等も考慮し、低学年は職員室や保健室に近い教室とする。</p>
19	<p>・<u>低学年の教室について</u> 道路に面したところに低学年教室を設けることは、授業時の集中力の低下につながるのではないか。</p>	<p>①道路と校舎の間になかよし広場という空間を設けて緩衝帯とする。</p> <p>②樹木や築山等を配置し、遮音や落ち着いた環境を創り出す。</p>
20	<p>・<u>保健室について</u> 1. 小学生は中学生がいたら入りづらいので、低学年の教室に近いところにあるのは意味があるのか。 2. 昇降口に近いのは行きづらい部分もあるので、工夫をして欲しい。 3. 保健室のベットの数は、最低でも 3～4 床は欲しい。</p>	<p>①保健室へ行き辛さを解消するため、昇降口から離して配置する。</p> <p>②保健室は、ベット 3 床を設けるスペースを確保する。</p>

	意見・要望・提案	検討結果
21	<p><u>・カウンセリング室について</u> 低学年教室の近くにあるので工夫を。</p>	<p>カウンセリング室は、保健室との連携を図れるよう、職員室や保健室と隣接させ、利用し易い配置とする。</p>
22	<p><u>・理科室について</u> 理科室は小学・中学と一緒にしているが、分かれて設置しないのはなぜか。 グループ活動をする形と黒板の方を向いている形と、別々にして欲しい。</p>	<p>①理科室は、器具や教材等の管理を含め、効率のよい利用を考え、小・中共用とする。 ②グループ学習や授業対応等、複数のゾーン形成を可能とするスペースを確保する。</p>
23	<p><u>・屋上広場の利用について</u> 自然豊かなところがあるので、屋上緑化は必要か。</p>	<p>屋上緑化は行わない。</p>
24	<p><u>・西日について</u> 西向きの教室等の西日について、対策・工夫をお願いしたい。</p>	<p>庇の設置等、西日対策を行なう。</p>
25	<p><u>・四隅部分の通風について</u> 四隅部分の風の通りが悪く、暑くなるという話を聞いたとあるがどうか。</p>	<p>四隅の部分、廊下の突き当たりには窓を設置する等、通風を良くする。</p>
26	<p><u>・冷暖房（エアコン）の設置について</u> 普通教室にも冷暖房（エアコン）を設置して欲しい。</p>	<p>小・中パソコン教室、保健室及び教務センターにはエアコンを設置し、普通教室及び特別教室等には扇風機を設置する。</p>
27	<p><u>・体育館について</u> 1. 二階からの体育館への接続は使い勝手はよいが、二階にアリーナがあるために構造的に大丈夫なのか。 2. 一階部分、柔剣道場の床の柔軟性（衝撃吸収）は大丈夫なのか。</p>	<p>①一階部分の柱を多くし、堅固な施設とする。 ②床下には柔剣道場用のクッション付きの束（つか）を配置し、柔軟性を確保する。</p>

	意見・要望・提案	検討結果
28	<p>・「除染土」の処分について</p> <p>1. 現在、敷地内に保管されている除染土は、開校までに処分をして欲しい。</p> <p>2. 小中一貫校を建てるので、敷地内の移動であればどうか。他に移すかどうかについて、関係課との協議を進めて欲しい。</p>	<p>国の指針等を踏まえ、校内において支障のない位置で保管する。</p>

2 校舎建設及び施設整備の計画案

(1) 配置計画

- ・ 仮設校舎を使わずに既存校舎を活用しながら建設を行なうため、既存のプールのみ先行解体して、既存東側敷地部分に新校舎及び屋内運動場・柔剣道場を同時に建設する計画とする。
- ・ 限られた敷地の中で既存建物を残したまま新校舎を建設するため、計画に際してはできる限り「共有」空間を設けることが必要であり、且つ有効に敷地活用が出来る「囲み型」の校舎プランとする。
- ・ 隣地の道路が混雑し事故等を防ぐため、車両が一方通行で東門から西門に抜けられるように学校敷地内道路を新たに整備する。
- ・ バス等の大型車両が進入するには東側道路は狭いため、正門に隣接して2台程度止まれるようにバスの乗降場所を計画する。乗降時には雨に濡れないように、雨除けを考慮した計画とする。本計画の乗降場所は児童・生徒の送迎バスの発着位置とする。
- ・ 校舎については、日照や通風を考慮した向きとし、児童生徒達が一日の大半を過ごすことになる普通教室については、「南面」に面するように計画し、通風についても併せて考慮する。
- ・ グラウンドは、児童・生徒が行き来しやすく、校務センター、保健室及び正門等を意識した校舎西側に配置する。
- ・ グラウンドは、200mトラック・100m直線走路を整備し、小学校児童が安全に利用できる位置にブランコ等の遊具ゾーンを計画する。また、併せて野球用グラウンド、テニスコート2面を計画する。
- ・ 駐車場の配置については、児童・生徒と車両の動線分離を第一に考慮した計画とする。また、地域開放の際の解放ゾーンへのアクセスを考慮する。

(2) 空間構成

○普通教室エリア（各学年の教育形態に即した教室エリアの計画）

- ・各学年に応じた多目的スペースの活用
少人数でのグループワーク、読書、展示コーナー、集会など。
- ・多様な学習スタイルに対応するため、各多目的スペースには、手洗い・水飲み場を設置する。
- ・低学年エリアについては外部にせり出したデッキテラスを設け、畑・観察園の活用により、生活科授業への活用等学習エリアの拡張を図る。
- ・低学年教室には、小規模な穴倉的空間「デン」を設置し、子供達に多様な遊び場・居場所を提供する。
- ・内部施設の充実
冷暖房設備（校務センター・保健室・パソコン教室等）
上下式黒板（普通教室）
ホワイトボード（特別教室対応）の活用

○昇降口エリア

- ・昇降口を校務センターの北側にまとめて配置することで、小中一貫校ならではの交流を促すことができる。また、先生方の玄関も隣接することで防犯にも配慮する。

○管理エリア

- ・校長室、職員室、放送室、会議室などの管理諸室は、相互間の連携を考慮した配置計画とする。また、教務センターの中心である職員室は、安全管理の観点から、児童生徒のアプローチやグラウンドが見渡せる位置とし、校内での児童・生徒の視認性を確保する。
- ・職員室内の収納スペースや小会議スペースを充実させるとともに、男女更衣室（ロッカー、洗面台の配置）や給湯室の位置により、教職員の快適な空間を確保する。また、校長室と校務センターを密接とするため、隣接して計画する。
- ・保健室はグラウンドに面し直接出入り出来るとともに、校務センターに隣接した位置に計画とし、ベット3台及びシャワーユニットを設置し、児童生徒が立ち寄りやすい空間となるよう配慮する。また、カウンセリング室を併設することにより、児童・生徒の指導や相談の機能も充実させる。また、入口を2箇所設け、小中別に仕切って使用できるように、普通教室の1.2倍の大きさを確保する。

○メディアエリア

- ・図書館は児童・生徒の日常的な利用を優先させ、小学校高学年及び中学校の普通教室からアクセスしやすい二階北側に計画する。
- ・コンピュータ室と図書室を隣接して設置し、メディアの連携による学習空間の拡張を図る。
- ・小中ごとの利用目的に応じた内部ゾーニングを検討し、閲覧・学習・読書・読み聞かせ・書庫等のエリアを充実させる。

○特別教室エリア

- ・理科室については、器具等の管理を含めた効率の良い教室利用を考えて1つの教室に集約するが、グループ学習と授業対応と二つのゾーンに分けることが可能となるように、普通教室の3.7倍（準備室含む）の大きさを確保する。
- ・家庭科室・美術兼図工室・音楽室については、効率の良い教室利用を考えて小中共用を考慮した計画とする。面積については、通常の特別室等よりも大きめに設定する。
- ・家庭科室については、ランチルームとの関連も含めた地域開放を意識した配置とする。
- ・ランチルームについては、教室の約4.5倍を確保し、教室内における居食分離を実現させ、多目的広場も取り込んだ憩いの場所とする。また、ランチルームとして使用されない場合には、視聴覚室として使用できるような視聴覚設備も整えて計画するとともに、地域開放を意識し二室に分離して利用できるように移動式の隔て壁を設置する
- ・小学校低学年エリアに1教室、高学年エリアに2教室、中学校エリアに1教室予備教室となりうるような教室を確保する。

○運動施設エリア

- ・屋内運動場は各教室からの移動やグラウンドとの連携を考慮した配置計画とする。
- ・屋外運動場（グラウンド）にはトラック200m・直線100m、野球場、テニスコート2面、遊具エリアを確保する。バックネット等を有効に活用し安全に配慮する。
- ・体育器具の収納庫や屋外便所、運動部室、遊具等を適正に配置する。グラウンドは雨水等の排水や散水設備の充実を図る。

○その他

- ・外構工事として安全面には十分に考慮しフェンス、防球ネット等を設ける。
- ・地域開放ゾーンを一部に集約し明確に管理区画を形成し、安心して学校開放できる計画とする。
- ・廊下は管理・安全上の観点から死角の生じないように意識した計画とし、通行の用途だけではなく、児童・生徒の交流・談話の場としても活用できるように壁芯で幅員3m以上確保する。
- ・トイレ
普通教室や管理諸室からの使用エリアを考慮した計画とする。床仕様は乾式を検討し、人感センサースイッチや小便器の自動洗浄・暖房便座を検討する。また、男女とも大便器については洋式便器を主として計画する。
- ・外流し・水飲み場
生徒・児童の行動に順応するように外流し・水飲み場を適宜設置する。
- ・外部室
男女テニス・野球の3競技について設置する。
- ・外トイレ
男女設ける。水洗か汲み取り式化は検討する。
- ・体育器具倉庫
3K×4.5K程度の大きめな倉庫を小中別に計画する。

○生活環境

- ・安全対策・セキュリティ
事故防止への対応と安全性の確保を最優先に考えるとともに、外部からの侵入者から児童を守るためのセキュリティシステムを検討すると共に、教職員からの児童・生徒への視認性を確保する計画とする。
- ・環境配慮（エコスクール）
環境負荷の軽減策として、西日が当たる校務センター等には大きめな庇を設け日射を抑制すると共に、西側校舎を一階建としたことによる自然通風の確保を実現する。
- ・自然エネルギーの活用や断熱化・日射遮断等による冷暖房負荷の低減を図る。
- ・内装材には木のぬくもり等を意識、木質系素材をできるだけ使用し、シックハウス対策を考慮した計画とする。
- ・西風対策

高帽山方向から吹き下ろす西風により砂塵を防ぐため、「芝張りゾーン」を計画する。

○体育館・柔剣道場について

- ・敷地を有効活用するため、一階を柔剣道場とピロティを配置し、二階を体育館施設とする。ピロティ部分については駐車場及び駐輪場として整備する。
- ・体育館アリーナは、縦に2面バスケットコートが設置できるような面積確保する。
- ・柔剣道場については、柔道・剣道で同時に使用できるように計画する。
- ・倉庫・器具庫を充実させる。
- ・体育館の器具庫一室については、バレーの部室も兼ねる。
- ・トイレは、二階に設ける。防災用として一階に設置する事についても検討する。

○ユニバーサルデザイン

- ・高齢者や障害者が円滑に利用できる施設として、「バリアフリー法」と「茨城県ひとにやさしいまちづくり条例」の基準を満たした計画とする。
- ・出入口等の段差をなくし、エレベーターや多目的WC（一階）を計画する。
- ・適切に手摺り・スロープ等を配置する。
- ・ひと目で分かるサイン計画や来校者への案内表示を充実する。